

## 2. 火山の概況 (平成 15 年 6 月 12 日 ~ 平成 15 年 6 月 18 日)

十勝岳・浅間山・薩摩硫黄島・諏訪之瀬島では微動があった。伊豆東部火山群では微小な地震が一時的に多くなった。三宅島では噴煙活動が継続し、多量の火山ガスの放出が続いた。



表1 最近1か月に記事を記載した火山

号	対象期間	十勝岳	浅間山	御嶽山	伊豆東部火山群	三宅島	阿蘇山	桜島	薩摩硫黄島	諏訪之瀬島
25	6/12- 6/18									
24	6/ 5- 6/11									
23	5/29- 6/ 4									
22	5/22- 5/28									
21	5/15- 5/21									

**注1 記号の意味**

- : 噴火した火山
- : 観測データ等に变化があった火山
- : 前期間までに掲載した火山の、その後の状況等

**注2** 本文の火山名の後ろの[噴煙・噴気・地震・微動・空振・地殻変動・熱・火山ガス等]は、变化があった観測データ項目を示す。

### 十勝岳 [微動]

15日 13時 08分頃から、継続時間が約1分間の微動(最大振幅0.13 $\mu$ m(マイクロメートル))が発生した(微動の発生は6月1日以来)。2月8日の微動以降に時折発生している微動は、規模が次第に小さくなる傾向にある。

なお、微動の発生前後に地震の増加はなく、噴煙の状況にも異常は認められなかった。

### 浅間山 [熱・微動・地震]

振幅の小さい微動が6回発生した。このうち3回の微動は、2月6日以降のごく小規模な噴火に伴い発生した微動に類似していたが、火山灰の噴出は確認されなかった。また、いずれの微動の発生前後でも、地殻変動等その他の観測データに変化はなかった。

噴煙の状況は、期間を通して悪天候による視界不良のため確認できなかった。

群馬県林務部設置の高感度カメラ及び赤外カメラによる火口内の観測では、火口底が明るくなる現象が引き続き観測された。

地震回数は、13日~16日に1日当たりの回数が36~50回と一時的にやや多い状態となったが、17日以降は低調になった。

GPSによる地殻変動観測では、特に異常な変化は観測されなかった。

### 伊豆東部火山群 [地震]

13日 22時頃から、伊東市川奈崎沖付近の深さ約10kmを震源とする微小な地震活動が活発化し、14日 20時頃まで地震が連続的に発生しする状態が続いた。地震回数は16日までやや多い状態であったが、それ以降は低調になった。連続した地震の発生は2002年5月以来である。

火山性微動及び低周波地震は観測されなかった。

GPSによる地殻変動観測では、特に異常な変化は観測されなかった。

### 三宅島 [火山ガス・噴煙・地震]

18日に気象庁が行った火山ガス観測<sup>\*1</sup>では、二酸化硫黄の放出量は日量約5,200~7,400トンと、長期的には低下傾向がみられるものの依然多い状態であった(図2)。

また、同時に気象庁、産業技術総合研究所及び大学合同観測班が行った上空からの観測<sup>\*1</sup>では、悪天候のため火口内の状況は確認できなかった。

監視カメラによる観測では、白色噴煙は連続的に噴出しており、高さの最高は火口縁上500m(18日)であった(前期間900m)。

12日に振幅のやや大きな低周波地震が発生した。噴煙の状況は雲のため確認できなかったが、その他の観測データに変化は見られず、その後、地震活動は平穏な状態であった。

GPSによる地殻変動観測では、三宅島の収縮を示していた地殻変動は収まっている。

\*1 航空自衛隊の協力による。

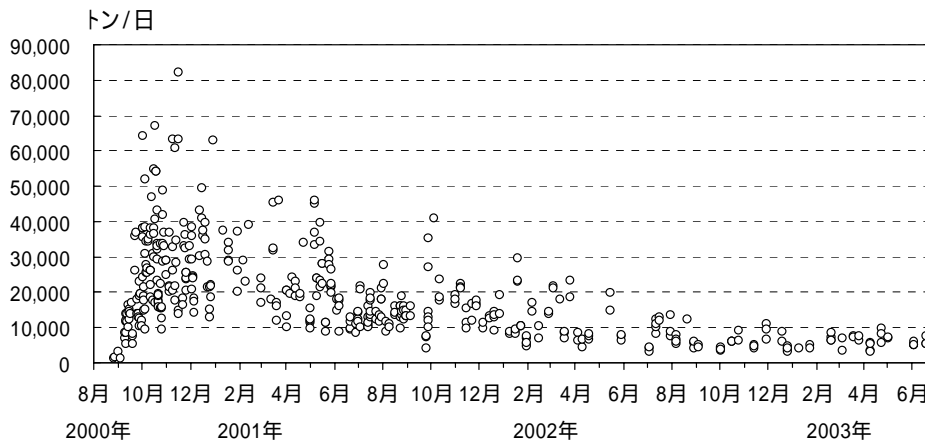


図2 三宅島 二酸化硫黄放出量(2000年8月26日 ~ 2003年6月18日)

### 薩摩硫黄島 [微動・噴煙]

前期間の6日夜から、継続時間の長い微動の振幅が増大し、火山活動はやや活発な状態となっていたが、15日以降は低調になっている。

三島村役場硫黄島出張所によると、島内の集落(硫黄岳の西約3km)では降灰は確認されなかった。

### 諏訪之瀬島 [微動]

爆発<sup>\*1</sup>や連続的な空振を伴った微動は観測されなかった(前期間は爆発1回)。

前期間の10日から15日未明までは継続時間の長い微動が発生し火山活動はやや活発な状態であったが、それ以降は低調になっている。

十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、島内の集落(御岳の南南西約4km)では降灰は確認されなかった。

\*1 爆発: 噴火の一形式で爆発的噴火の略。地下の高温、高压源での内圧が増大して起こり、音響とともにガス、水蒸気、岩石等を放出し、空振を伴う現象。時に火口や山体を破壊することもある。気象庁では、噴火に伴い発生した地震及び空振の大きさなどをもとに、爆発的噴火であったかどうかを判断している。

表2 火山情報発表状況

火山名	情報の種類及び号数	発表日時	概要
三宅島	火山観測情報第322号 (1日2回発表)	12日 09:30	活動経過ほか(噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻変動の状況、上空からの観測結果、及び上空の風・火山ガスの移動予想)
	火山観測情報第335号	18日 16:30	
薩摩硫黄島	火山観測情報第4号	16日 11:10	火山活動は低調になった。
諏訪之瀬島	火山観測情報第4号	16日 11:15	火山活動は低調になった。